

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和7(2025)年9月17日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「9月12日に行われた県下署長会議は、県警察の方向性を共有し理解を深めるだけでなく、新体制となって半年が経過した時期に、各署長の抱える様々な課題や苦労について情報交換でき、改めて、非常に良い機会であると感じた。今年も残すところ3か月半であるが、治安の維持につながる目標等の達成に向け、一丸となって頑張っていただきたい。また、暑さが和らぐ中で、人の動きが活発になったと感じるので、非常事態宣言が出されている交通死亡事故防止や増加が懸念される熊対策等について、警察官自身の身を守りつつ、地域住民のために活動してもらいたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 警察署協議会委員改選に伴う委員候補者の審議及び委嘱について

警察本部から、「警察署協議会の委員改選に伴い、各署から推薦された委員の候補者について要件審査を行ったところ、いずれも適任と判断し、公安委員会の決裁を経て委嘱する予定である。今次改選は、大船渡・釜石・宮古3警察署の協議会委員の任期が本年9月30日で満了となり、10月1日付けで改選となることに伴うものである。改選人員は、県内の警察署協議会委員の合計140人のうち、大船渡署8人、釜石署7人、宮古署9人の合計24人であり、3署が10月に改選するのは、東日本大震災大津波の影響で改選が延長されたことが理由である。3警察署以外の13署の委員116人については、本年6月1日付で改選済みとなる。推薦者の内訳は、再任者が前回改選時比1人増の15人、新任者が1人減の9人で、性別は男性が6人増の15人、女性が6人減の9人となり、女性の登用率は37.5パーセントとなる。これにより、今次改選を受けた16警察署全体の再任者は77人、新任者は63人となり、女性登用率は45.7パーセントとなるが、女性の登用率については、本県における審議会等委員に占める女性割合の目標値40パーセントを達成している。年齢構成は、70代以上が減少し、40代、50代が増加したことから、平均年齢は前回改選時から1.4歳低下している。最年少は宮古署の37歳男性、最年長は大船渡署の79歳男性である。今回の被推薦者に80代はいない。推薦者の職業分野は、自営業等の事業者や元公務員が多数を占めている。」旨の説明があり、決裁をした。

【刑事部議題】

○ 令和7年嘱託警察犬審査会の開催について

警察本部から、「本審査会は、来年1月から1年間嘱託する警察犬の選考を目的として毎年開催しており、本年は、10月3日、盛岡競馬場駐車場で開催する。審査会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止した令和2年を除き毎年開催しており、昭和33年の第1回以来、今回が66回目となる。今回受審する頭数は28頭で、新規受審犬は7頭である。審査科目は、臭いを嗅ぎ分ける『臭気選別作業』、犯人等を追跡する『足跡追及作業』、潜伏している不審者を発見する『捜索作業』、不審者を制圧などする『警戒作業』の4科目であるが、今回、『警戒作業』の申込みはない。審査に合格した受審犬の指導手には嘱託書を交付する。来年の嘱託予定頭数は20頭である。不合格となったが優秀性が認められ将来の活躍が期待される受審犬数頭については、嘱託候補犬として登録予定である。嘱託期間は、令和8年1月1日から同年12月31日までの1年間であり、警察本部長名で嘱託する。本審査会は県警察ホームページで広報し、一般の方の自由観覧も認めている。」旨の報告があった。

【交通部議題】

○ 「令和7年秋の全国交通安全運動」の実施について

警察本部から、「秋の全国交通安全運動は、県民への交通安全思想の普及・浸透等を目的として9月21日から同30日までの10日間、実施される。運動重点は、『歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進』、『ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進』、『自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進』の3点であり、スローガンは、『反射材 わたしとかがやく 夜の道』である。過去5年間における運動期間中の交通事故発生状況を見ると、例年、日没が早まり視界が悪くなる時間帯と、帰宅・下校・買い物等で交通量が増える時間帯が重なる時季にあることから、歩行者が被害に遭う交通事故が増加する傾向にある。期間中の主な行事としては、運動期間前の19日に『秋の全国交通安全運動開始式』、30日に通学路における全国一斉取締りを予定しているほか、各警察署において、関係機関・団体と連携した広報啓発活動を行うとともに、取締りの強化を図ることとしている。今回は、岩手県芸術文化協会の主催、県警察の共催により、小学生等対象の道路標識コンクールを開催することとしており、優秀作品には協会長賞、交通部長賞を授与する。本県は8月に死亡事故の発生が連続していることから、交通安全運動の取組とともに、事故状況の分析結果に基づく主要交差点やコンビニエンスストア駐車場でのパトカーによる交通監視活動といった『目立つ街頭活動』、重大事故につながる横断歩行者等妨害と速度違反の取締りも重点的に行い、交通事故抑止を強力に推進していくこととしている。」旨の報告があった。

○ 外国人運転者交通安全対策について（本年10月1日以降）

警察本部から、「本件は、令和7年10月1日以降、外国免許証から日本免許証への切り替え手続き、いわゆる外免切替の運用が厳格化されるものである。まず、切替申請時についてであるが、住民基本台帳法の適用を受ける外国人であるか否かで確認する書類が変わることとなる。住民基本台帳法の適用を受ける外国人とは、在留カードの発行を受け日本に3か月以上滞在する中長期滞在者、特別永住者等を言い、同法の適用を受けない外国人とは、外交官、モータースポーツイベントで来日するレーサー等のことを言う。住民基本台帳法の適用を受ける外国人が運転免許を申請する場合は、住民票の写し、マイナンバーカード等により本人確認を行なうこととなるが、住民票は、国籍、在留資格、在留期間等のすべてが記載されているものとされるため、旅行客や短期滞在の外国人は運転免許の申請をすることができなくなる。また、同法の適用を受けない外国人が運転免許を申請する場合は、外務省の発行する外交官身分証明票のほか、短期滞在や永住者には発行されない在留資格認定証明書等で本人確認を行うこととなる。次に、免許の更新、記載事項の変更時に必要な書類について、現在は、免許証やマイナ免許証の提示を求めているところ、今後は、住民基本台帳法の適用を受ける外国人には、現有の運転免許に加え、在留カード、特別永住者証明書、在留期間を記載した住民票の写しのいずれかの提示を求め、同法の適用を受けない外国人には、外務省等発行身分証明書、公的機関等発行住所確認書類等の提示を求めることがある。最後に、日本の免許制度と同等の水準にあると認められる免許制度を有している国・地域以外で交付されている外国免許証所持者を対象に行う知識確認については、問題を現状のイラスト問題10問から文章問題50間に増やし、制限時間を30分とする。また、通過基準を正答数7問以上の70%以上から45問以上の90%以上に引き上げるほか、文章問題50問の内訳について、信号、標識・表示に従うこと等6項目から7問以上出題することを必須とする。また、技能確認については、現行の通過基準70点以上に変更はないものの、課題の追加・改正や走行距離の延長、採点方法を通常の技能試験と同様にするなどして厳格化を図ることとしている。10月からの運用に誤りが生じないよう、国際交流協会や技能実習生の受け入れ企業等を通じた広報、担当職員への指導教養を実施していく。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 警察職員の援助要求について

警察本部から、「滋賀県警察では、令和7年9月28日、同29日の両日、天皇皇后両陛下の第79回国民スポーツ大会御臨場及び地方事情御視察に伴う行幸警衛を予定しているが、これに万全を期すため、同県公安委員会から本県公安委員会に援助の要求がなされたことから、本県警察官を派遣しようとするものである。また、青森県警察では、各都道府県警察の特別派遣を受け、東北電力株式会社東通原子力発電所の警戒警備を実施しているところ、同県公安委員会から本県公安委員会に援助の要求がなされたことから、本県警察官を派遣しようとするものである。」旨の説明があり、決裁した。

【警察学校】

○ 初任科第100期短期課程の卒業式について

警察本部から、「9月26日午前10時から、警察学校体育館において初任科第100期短期課程学生の卒業式を行う。卒業生は27名を予定しており、卒業後は、各警察署に配置され、今後約4か月間の職場実習を経て、来年の1月下旬に初任補修科生（第48期）として再度入校する予定である。出席者については、入校式と同規模程度の来賓に出席をお願いしており、また、来賓以外の出席者については、卒業生の家族や親族に限定することで人数は制限しないこととしているが、新型コロナウィルスの感染症等の状況によっては措置を講じる必要があることから、変更が生じた場合は公安委員会補佐室を通じてご報告する。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 運転免許課

指定自動車教習所に対する「受験資格特例教習」の指定についての説明、決裁
免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 生活安全企画課

交通誘導検定合格警備員を配置する路線（認定路線）の見直し及び公安委員会告示についての説明

○ 警察学校

初任科第100期短期課程卒業式における公安委員会委員長の対応についての説明、決裁